

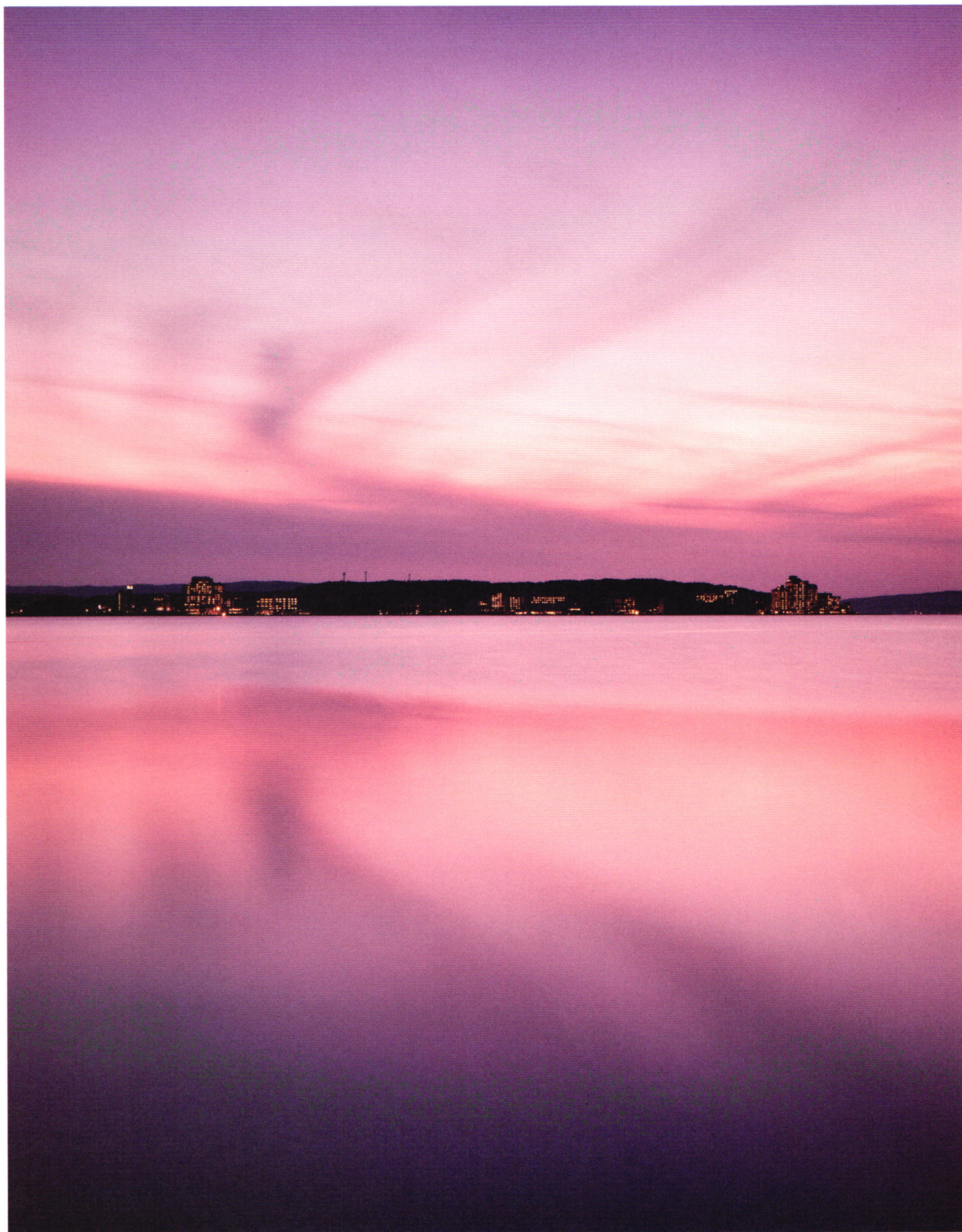
石川県 能登半島 和倉温泉

わくらくし

WAKURADUKUSHI



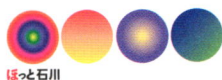
平成28年度～
(平成28年4月～)



湯の香 潮の香 さわやか



能登半島・和倉温泉



和倉温泉観光協会・和倉温泉旅館協同組合

住所: 〒926-0175 石川県七尾市和倉町2-13-1

電話: 0767-62-1555

ファックス: 0767-62-2611

メール: info@wakura.jp

和倉温泉

検索



開湯一二〇〇年を誇る ”海の温泉“わくら。

能登半島の中央に位置し、
波静かな七尾湾に面した和倉温泉。

開湯一二〇〇年を誇る北陸の名湯は、
湯脈が海中にあることから、
北陸随一の”海の温泉“
として知られています。

二〇一五年春に開業した北陸新幹線により
東京ー金沢間が最速二時間二十八分で結ばれ、
関東方面の皆様にとっては
より身近な温泉街へ（約一時間二十分の短縮）。

また、金沢駅から電車で一時間の和倉温泉は、
能登半島全域にアクセスしやすく、
能登空港まで車で一時間、
輪島への観光も車で一時間と、
能登の旅をまるごと堪能できる
抜群の立地を誇ります。



Photo: Maki Taguchi

酒井 景都(さかい けいと) アーティスト / モデル / デザイナー
 1982年、イギリスアンティーク屋を営む両親の元に生まれる。
 96年雑誌「オリブ」(マガジンハウス)でモデルデビュー以来、ファッション誌カルチャー誌のモデルとして活躍。
 慶応大学在学中の02年、ブランド「Made in COLKINIKHA(コルキニカ)」を立ち上げる。
 ファッションシーンに留まらず、ミュージシャン活動、雑誌、書籍での執筆活動など、その活躍は多岐に渡る。
 2015年夏にブランド「Curtain Call」をスタート。



ここ和倉温泉の魅力は、
 それだけにとどまりません。
 そのひとつは、新鮮な食材を活かした料理の数々。
 能登の里山里海がじっくり育んだ旬の味覚を
 年間を通してご堪能いただけます。
 そしてもうひとつは、最上級のおもてなし。
 四季の移ろいを感じながら、
 至高の宿で過ごすひとときは、
 何にも替えがたい贅沢です。
 穏やかな海を臨む湯街で、
 新たな出会いを心よりお待ちしております。

能登半島の粋が
集まる和倉温泉。

北陸新幹線が開通し、NHK連続テレビ小説『まれ』の舞台にもなった能登半島。その観光の玄関口として栄えてきたのが、ここ和倉温泉です。歴史ある温泉に浸り、旬の食材を味わい、ゆったり流れる時間を感じ、四季折々の景色に触れる——。この街には、こういったことが当たり前のようにあふれています。せわしない現代にあってはまるで“贅沢”のように感じられますが、これは日本人が古来より親しんできた“日常”の姿かもしれません。能登の粋が集まる和倉で、少し休憩していきませんか？

01

“海の温泉”には知られざる歴史があった!?
平安時代から現代まで、
パネルで振り返る和倉温泉ヒストリー

和倉温泉、
一二〇〇年の歴史に
どっぷり浸かる！



02

絶妙の湯加減と塩加減
わくたまくんが教える
ところろ“温たま”作り

お湯から生まれる
エトセトラ。



03

里山里海が育む
栄養満点の能登グルメを
和倉で食べ尽くす！

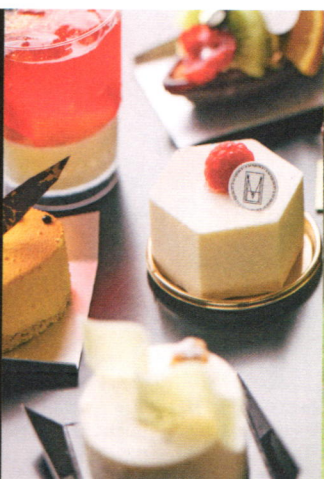
旬の味覚、
能登のまいもん。



04

カフェ、お寺、夜景
贅沢な時間を味わう
定番スポットめぐり

ゆったり
のんびり、
わくわく時間。



05

古い湯街に息づいた
歴史の堆積に触れる、
大人の散歩道

大人の
和倉散策。



06

輪島塗、珠洲焼、揚げ浜塩
旅の思い出に、
能登の魅力をお持ち帰り

こうてくだい！
能登のみやげ図鑑。



パネルで振り返る
和倉温泉ヒストリー！

和倉温泉の中心地にある「湯元の広場」。源泉が湧き出るこちらの場所には、ランプのモニュメントを取り囲むように埋め込まれた8枚のパネルがあります。そこには和倉温泉・1200年間の歴史がイラストつきで紹介されていますが、中には権力者に抗った「闘争のドラマ」も……。和倉温泉はどこで生まれ、いかにして今日まで受け継がれて来たのか——。パネルを1枚1枚振り返りながら、一緒にタイムトラベルへ出かけてみませんか？

～ 涌浦涌浦と家なら七つ

嶋に湯が出にや 誰行こや～

和倉に古くから伝わるこの里歌は、「温泉が湧いていなければ、家が七軒しかない和倉に誰が行くだろう」と歌ったもの。いつしかそんなやっかみが出るほど人気の温泉街となりました。

開湯は大同年間(806年～810年)にまでさかのぼる和倉温泉。この地の評判が全国的に知られるようになったのは、慶長16年(1611年)に加賀二代藩主・前田利長が病気の治療のために和倉の湯を取り寄せてから。以後、和倉温泉の良質なお湯は、多くの人に親しまれるようになりました。

“海の温泉”に込められた1200年の歴史とドラマに、どっぷりと浸かってみてください。



806年～810年頃 和倉温泉、開湯！

時は平安時代、「大同年間」と呼ばれるこの時期に、薬師嶽の西側(現在の「湯の谷」がある場所)で温泉が湧き出ているのが発見されました。これが和倉温泉の開湯です。近隣住民にとっては貴重なお湯で、日々の生活に利用したほか、「湯の谷で体を洗ってから漁に出ると魚がよく獲れる」という逸話が残るなど、縁起物としても重宝されていました。



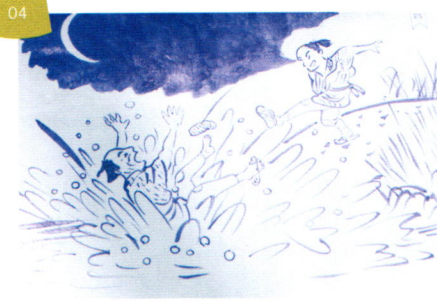
1046年～1053年頃 地殻変動で“海の温泉”に

ところがその後、この温泉は枯れてしまいます。「永承年間」に起こった地殻変動により、湯元が移動してしまったのです。新しく発見された湯元は、何と海の中！一説には、足を怪我したシラサギが湯治をしていたことからその場が発見されたとか。ブクブクと温泉が湧き出る一帯を石で囲い、住民たちは舟を使って“海の温泉”をくみ、入浴などに利用しました。



1641年 加賀藩の命により、人工島を設営

時代は下り、お湯が湧くことから「涌浦(わくら)」とも呼ばれたこの地は、前田家効果もあり、名の知られる存在となりました。そこで加賀藩は町奉行に命じ、湯元の周囲約20mを石や土で埋め立て、「湯島」という人工島を設営。島の上に入浴施設を建てたこともあって湯治客が増えていき、和倉の人気はますますアップ。後の1819年には、約54mの橋も完成しました。



1654年 管理権をめぐる“闘争史”の幕開け

人気の温泉街となった和倉ですが、問題が勃発します。湯治客で賑わう温泉を統治すべく、加賀藩が少五郎という金沢商人を「湯番徒」に任命。これにより、温泉の管理権が和倉村の共同保有から少五郎に移ってしまいました。住民は入浴制限や湯税の取り締まりを困る少五郎に激怒。その思いは、「憎き湯番徒を闇夜に海へ蹴り落せ」という里歌にも残っています。



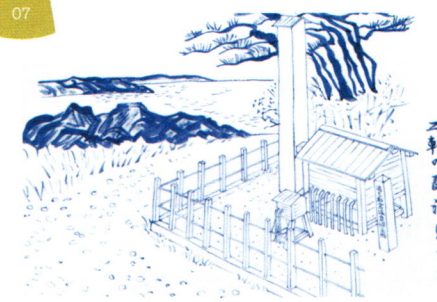
1872年 和倉村、温泉の管理権をついに奪還！

和倉村と少五郎(代々の湯番徒)の確執は、そこから200年以上も続くことになりました。終焉のきっかけは明治維新。幕藩体制の崩壊により、少五郎の後盾となっていた加賀藩が消滅し、これを好機と和倉村は交渉を持ちかけます。少五郎は「銀2000貫(現在なら億は下らない額に相当)」を条件に譲渡を認め、ようやく温泉の管理権が和倉村に戻ってきました。



明治～大正期 世界に認められ、ブランドを確立

その後、和倉村は独立採算で経営すべく、住民で資金を出し合って株を分ける「湯株組織」を編成。人気はますます高まり、1881年にはドイツ・フランクフルトで開催された万国鉱泉博覧会で「世界三等鉱泉」の栄誉に輝きます。大正期には湯を蒸発させた結晶で作った和倉温泉の素「湯の花」が人気商品になるなど、名湯としてのブランドを確立させていきました。



大正～昭和期 “自然湧出”からポンプ方式へ移行

それまで自然に湧き出る温泉を使っていましたが、大正期に入る頃には来客数の増加につれ、お湯の供給不足が懸念されるように。そこで合資会社(旧湯株組織)は温泉を掘り、ポンプで汲み上げる方式に移行。町内16軒の旅館にパイプで配湯できるようになるなど、温泉の供給が劇的に改善されました。発展の背景には、こうしたシステム面での進歩もありました。



1899年 初代共浴場「総湯」完成。和倉のシンボルに

さて、ここまで歴史をダイジェストで振り返ってきました。お湯を分け合い、管理権を奪い返し、町で共同管理してきた和倉温泉。それは世界的にも希有な“民主的な温泉”の歴史であり、その象徴が共浴場の「総湯」です。1899年に初代がオープンし、その後もリニューアルを重ね、今日の総湯へとつながっています。歴史ある“海の温泉”を、ぜひご堪能ください。

豊富な塩分がもたらす3大効能

和倉温泉のお湯は、“海の温泉”ならではの豊富な塩分が特徴です。代表的な効能に、傷や皮膚病に作用する「殺菌効果」、塩分が皮膚に付着することで汗の蒸発を抑えて湯冷めを防ぐ「保温効果」、毛穴を引き締めて肌をなめらかにする「美肌効果」の3つが挙げられます。また、海に面した和倉の温泉は、潮の香りや波の音、水平線や飛び交う鳥たちといった要素も魅力のひとつです。“海の温泉”がもたらす極上ひとときを、ぜひ楽しみください。



和倉温泉 総湯

地元民から旅人まで、広く愛される“街の温泉”。現在の総湯は2011年にリニューアルオープン。絵になる外観と美しい内観も人気の理由です。ここでしか味わえない源泉100%の名湯を、銭湯価格で堪能できます。

📍 石川県七尾市和倉町ワ部6-2 📞 0767-62-2221 📄 P.18 G

お風呂以外の施設も充実！

入浴施設のほか、足湯や大広間、観光交流施設などが併設されています。昔から地域の拠点として栄え、また共同浴場として観光客を迎え入れてきたここ総湯には、観光や歴史にまつわる資料がズラリ。温泉の熱で温められた床暖房に腰をおろし、じっくり閲覧することも可能です。



湯っ足りパーク(妻恋舟の湯)

右手に能登島大橋、左手にはツインブリッジ。七尾湾を一望する湯っ足りパーク(妻恋舟の湯)は、無料で足湯を楽しめる和倉の人気スポットです。少しぬるめの温泉に足をひたして全身を温めながら、絶景に身をゆだねてみてはいかがでしょうか。 ※ 天候により休業あり

📍 石川県七尾市和倉町ひばり1-1 📄 P.17 E-3

ワクワク、ランラン、ゆっくり過ごそ

ここ和倉温泉は、約90度という非常に高温の源泉が湧き出しています。また“海の温泉”ということで、豊富な塩分が含まれているのも特徴のひとつです。

この温泉、実は入浴以外にも用途がたくさん。そのひとつが「温たま作り」です。絶妙の湯かげんと塩かげんで茹であがる温泉たまごは和倉の名産品と言っても過言ではなく、その人気は公式PRキャラクターの「わくたまくん」を生み出してしまったほど。温泉も温たまもベンチのぬくもりも、さらには各種のわくたまくんグッズも、元をたどればすべてこの源泉がもたらしてくれた“お湯の恵み”なのです。

01 生たまごは近隣の商店で売っています。
器やスプーン、タイマーなどを貸してくれるお店も。



02 茹で時間は13～16分が頃合い。
散策するもよし、目にも温かな源泉の湯けむりを眺めて待つもよし。



03 そーっと殻をむいてみれば、
とろとろの中身がこんにちは！
口の中に広がる塩味が人気の秘密です。

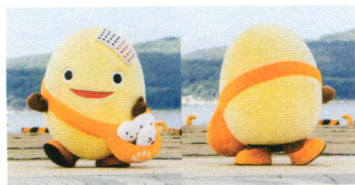


“湯かげん”
“塩かげん”
“なせるわざ”
“和倉名物、
塩味とろとろ
温泉たまご”

和倉温泉には、「湯元の広場」「弁天崎源泉公園」「総湯前」と、温泉たまごを作る場所が3カ所あります。作り方はカンタン！設置されたカゴにたまごを入れ、湧き出る源泉に浸して待つこと13～16分。およそ90度の源泉によってじんわり茹でられた半熟たまごのできあがりです。“海の温泉”がもたらす天然の塩かげんにより、そのまま食べても十分な味わい。温泉や散策後の塩分補給にもお役立ちなのです。

湯元の広場 P.18 G / 弁天崎源泉公園 P.18 C-1

和倉温泉 わくたまくん
和倉温泉PRキャラクター。
特技は温泉たまご作り、血液型はたまご型。
「ワクワク、ランラン、ゆっくり過ごそ」と人々を癒す愛されキャラ。





「弁天崎源泉公園」は、「女性に優しい温泉スポット」として注目されています。体を末端から温める「手湯」は、タイツやストッキングで足湯に入りづらい女性客に人気です。また、温泉の熱で「床暖効果」を発揮している「あったかベンチ」も、冷え性の女性から高い評判を得ています。能登はやさしや“お湯”までも？ というわけで、温泉の恵みを様々な形で楽しめください。

おしりもぬくぬく「あったかベンチ」

📷 P:18 C-1

手先からじんわり全身を温める「手湯」

📷 P:18 C-1

和倉温泉の人気者「わくたまくん」が様々なグッズに。お土産にいかが？



グラス650円／3面にわくたまくんのイラストが描かれたグラス。グッドデザイン賞受賞の日本製コップを使用。湯上がりの一杯に。



わくたまくんスタッキングマグカップ 1,620円(1個)／家で、オフィスで使いたくなるマグカップ。ペアで楽しめる二色展開です。



わくらムネ 150円(1本)／わくたまくんの大好きな海と温泉をイメージして「能登海洋深層水」を配合。ほんのりとした塩味が人気。



3つ子の塩プリン 550円(3個入り)／カバンの中の3つの温泉たまごがモチーフ。七尾産コシヒカリ米粉と奥能登揚げ浜塩を使用。



ボールペン 300円(1本)／蛍光マーカーもついたツインタイプの便利なボールペン。学校で、オフィスで、人気者になること間違いなし！



わくたまくんストラップ 690円／お土産の定番として人気NO.1！ いつでもわくたまくんと一緒に。



マネしておしゃべりぬいぐるみ 2,160円(※電池別途)／話しかけた言葉をマネしておしゃべりするわくたまくん。愛嬌たっぷりの動きにメロメロです！



わくたまくん湯たんぽ 1,980円／ふわふわの手触りにこだわったやさしい温かさ。キュートな表情に、気持ちまでぽっかぽか。



わくたまくんメモ帳350円／3種類の絵柄が入った1冊90ページのメモ帳。コンパクトサイズで、メモに伝言に用途は自在！



なまこ美人1,900円(1個)／なまこ抽出エキスを和倉温泉の源泉などを配合した洗顔用石けん。しっとりした洗い上がり特徴です。



和倉の湯入浴剤200円(1個)／和倉の源泉が配合された発泡入浴剤。パッケージには往年の共浴場があらわれ、レトロモダンなデザインに。



わくたまくんバスタオル 1,980円／日本のタオル名産地「泉州」の職人さんとのコラボ商品。温泉の入浴イラストが楽しい！

このほかにも、
まだまだ
たくさんあるよ！





栄養豊富な水質を誇る七尾湾で育った海の幸。脂の乗った寒ブリ、肉厚で甘みの強い能登杜鰈、新鮮でアミノ酸が豊富なイカ、濃厚な旨味を持つ香箱蟹、"幻の高級魚"と名高いのどぐろなど、最高の食材が揃っています。

03

旬の味覚、
能登の
まいもん。

おいしさの秘密は、
"栄養とろとろの水"にあり！

寒ブリ、加能蟹、のどぐろ、あんこう、お米に野菜に、能登牛、地酒……。能登は、まいもんの宝庫です。（「まいもん」＝能登弁で「おいしいもの」のこと）

海の幸に山の幸、どうして一級品ばかりが揃うのか。その秘密は"水"にありました。

深い森と雄大な山々を有すこの土地では、雑木林に蓄えられた栄養たっぷりの水が、田んぼや川に流れ込み、土壌を豊かにします。そんな豊潤な土で育った食材は、どれも飾り気のない、素朴で力強い味に溢れています。

また能登半島をぐるりと囲んだ周辺の日本海は、暖流と寒流がぶつかる海の交差点。良質なプランクトンが大量に発生するため、栄養たっぷりの"まいもん"が育つのです。



能登の気候風土と美しい水に育まれた大地の恵み。ビタミンを多く含む中島菜、すりおろしてかぼちゃをかくるとピンクに変色する大根「能登娘」、加賀藩の献上品だった歴史を持つ沢野ごぼうなど、栄養豊富な能登野菜がズラリ。

和倉温泉には、新鮮な能登の食材を仕入れ、ランチで提供しているお店もたくさんあります。街のあちこちに、四季折々の旬を取り入れた珠玉のメニューが並びます。寒ブリのお寿司に舌鼓を打ち、ジューシーな焼きたてのホタテにかぶりつき、能登牛の旨みを口いっぱい堪能する——。お昼どきに、そんな贅沢はいかがでしょう。ランチで気軽に味わえる、和倉の代表的なグルメを紹介いたします。

ランチで食べられる、能登のまいもん♪

春夏秋冬、どの季節にもおいしいものがあり、いつでも旬の素材をお楽しみいただけます。春なら鯛や山菜、夏はアワビやサザエ、秋にはキノコが食べ盛りを迎え、冬には蟹、ブリ、牡蠣と色とりどり。さらに、海と山に囲まれた能登には、海の幸と山の幸が自然に出会う環境があります。そんな中で生まれる、旬の料理たち。四季に導かれるように発展してきた能登の食文化を、ぜひお楽しみください。

海の幸と山の幸が
能登の旬をいただく。



寿司

とろける寒ブリに、甘みたっぷりのイカ、ここでしか食べられない赤西貝など、「天然の生け簀」と呼ばれる七尾湾で水揚げされた食材を、ぜひお寿司で。食べられるお店：蛇之目寿司・信寿し



海鮮定食

イクラ、ウニ、ナマコ、もずく……。様々な海の幸を一挙に楽しむなら海鮮定食がおすすめです。食べられるお店：海ごちそう・和倉まかない食堂・能登海鮮丼みとね・居酒屋福ちゃん・蛇之目寿司



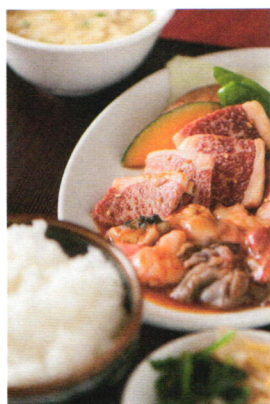
特選能登牛陶板焼き

きめ細かい肉質と良質な脂肪を持つ能登牛は、石川県内にしか流通しておらず、ここでしか味わえない幻の牛です。肉厚の能登牛を熱した陶板で焼いてみれば、脂の乗りきった身からジューシーな肉汁が染み出します。



地物ブランド加能蟹

加能蟹とは、石川県で水揚げされたズワイガニを指します。加賀と能登、それぞれの頭文字を取った地域限定のブランド蟹です。やわらかな殻とぎっしり詰まった身が特徴で、足についた青色のブランドタグが目印です。



能登牛

能登牛はシンプルに焼いて食べるのがおすすめ。能登牛は肉のやわらかさを決める「オレイン酸」が多く含まれており、特にカルビなどは、口の中で溶けゆくような食感が味わえます。食べられるお店：焼肉ひでくら・焼肉寿美好



浜焼き

みんなでワイワイ海の幸を楽しみたいなら、浜焼きがー押し。自分たちで選りすぐった食材を、その場で焼いて食べる。盛り上がること間違いなしです。食べられるお店：能登食祭市場・道の駅のとじま



能登の朝獲れ地魚

水揚げされ、すぐ市場に並ぶ能登の朝獲れ地魚。その新鮮さを享受するためには、やはりお刺身でいただくのが一番。鯛、甘エビ、カンパチ、寒ブリ……。海の恵みたちを、最高の鮮度で味わってみてください。



のどぐろ姿焼き

口の中が黒いことからその名がついたのどぐろは、マグロのトロにも匹敵すると言われる、脂の乗った白身の肉質が特徴です。姿焼きにして食べると、甘みがよりいっそう引き立ちます。能登の冬を彩る名物です。



和倉の定番スポットをご紹介します！

和倉の街には、ゆったりとした時間が流れています。カフェでお茶をしたり、公園でのんびり過ごしたり、高台から能登島を眺めたり……。七福神のスタンプラリーをしながら、能登の定番スポットをゆっくり歩いてみてはいかがでしょうか。夜になればお寺や橋のライトアップも。旅情を感じるロマンティックな湯街もいいものです。

ル ミュゼ ドゥ アッシュ

NHK連続テレビ小説「まれ」で製菓指導も務めた七尾出身の世界的なパティシエ・辻口博啓氏がプロデュースするミュージアム&カフェ。オーシャンビューの店内で、地元の素材をふんだんに使った宝石のようなスイーツが楽しめます。併設されている美術館も必見です。

📍 石川県七尾市和倉町ワ部65-1 📞 0767-62-4000 🗺️ P.18 C-1



和みの丘公園

青林寺から続く500段余りの階段を上ってみれば、七尾湾を一望できる見晴らし抜群の展望台に到着です。そこに設置されているのは、つけば願いが叶うという「和みの鐘」。ゴーンという音を、和倉の街に響かせてみては。

📍 石川県七尾市和倉町レ部61 🗺️ P.18 B-3



緑地ひろば(わくたまくんパーク)

柔らかな芝生が広がる公園には、様々な姿に七変化したわくたまくんがあちこちに点在しています。青空の下、一緒に記念写真を撮ってみれば、癒されること間違いなし！ 芝生でゆったり休んでみてください。

🗺️ P.17 E-3



旅館で用紙を入手。中面には散策マップと輪郭彫りをこすりつけるシートが印刷されています。「七福神福々めぐり」と書かれた表紙が目印です。



七福神の横に設置されたスタンドで、輪郭彫りをゲット。シートを所定の位置にあて、付属の鉛でこすればアラ不思議。輪郭が浮かび上がります。



七福神すべての輪郭彫りを集めれば、旅館で秘密のプレゼントがもらえます。何がもらえるかは……揃えてみてのお楽しみ。

和倉温泉にある7つの人気スポットには、幸せを呼ぶ七福神の石像と顔の輪郭彫りが設置されています。ゆっくり歩いてまわれば、およそ1時間程度の和倉散策にも。観光ついでに集めてもよし、食後の運動がてらに歩いてよし。各旅館に用意してあるシートに七福神の輪郭彫りをこすりつけ、すべて揃えれば、ご宿泊の旅館でプレゼントを差し上げます。ぜひトライしてみてください。

「七福神福々めぐり」でさらに楽しく！

和倉名物の夕日が沈んだあとは、温泉街も夜の闇に包まれます。人々が旅館で夕食に舌鼓を打っている頃、ひっそりと静まりかえった街で幻想的な輝きを放ち始めるのが、青林寺や渡月橋といった名所のライトアップです。

夜はロマンティックなライトアップに。



渡月橋

入り江に架かる渡月橋は、夜になると郷愁を誘う街灯の光に染まります。街並みを映す穏やかな水面と、大正ロマンを思わせるレトロなデザインの取り合わせで人気のスポットに。

📍 P.18 C-1



青林寺

正門へと続く階段が美しくライトアップ。また、ここに続く一本道もオレンジの街灯に照らされ、夜はどこかノスタルジックな街並みに変化します。ゆったりと散策してみてください。

📍 石川県七尾市和倉町レポ 61 📍 P.18 C-3



ちょっと大人な和倉の横顔。

もっとディープな和倉を知りたいという方は、歴史的建造物めぐりがおすすめ。歴史ある和倉の街には、まだまだ広く知られていない由緒ある建物が点在しています。

天皇家に縁のある名利や、異世界への入口と見紛う深い竹林など……あたりには静謐な空気が漂い、訪れる人々を厳かな心持ちにしてくれます。和倉の奥深さを物語る、風趣に富んだスポットをご紹介します。



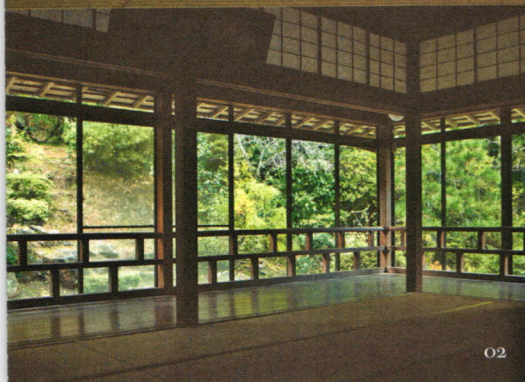
温泉の管理権を取り戻して以降、和倉は観光地としてますます栄えていきました。そのひとつのハイライトが、明治42年の皇太子殿下(のちの大正天皇)による行啓です。当時、皇族が和倉を訪れるのは初めてのことで、街を挙げての歓迎体制を整えました。メインは、殿下を始めとする御一行が宿泊する施設の建設です。そして七尾湾が一望できる白崎山の中腹に土地を設け、総檜造りの本殿と控え室を建設。御便殿の中には総檜造りの浴槽も設えられており、殿下は湯元から樽で運び込まれた温泉を堪能されたそうです。

和倉の一大プロジェクトとして多額の予算をかけて建設された御便殿は、その後も皇太子時代の昭和天皇がお立ち寄りになるなどしたのち、昭和51年、修築を機に本殿を近隣の青林寺に、控え室を信行寺にそれぞれ分けて移築。ちなみに御便殿が元あった場所は桜がとて多い場所で、“御便殿の桜”として和倉八景に数えられています。なお、青林寺と信行寺に移築された御便殿は今も健在で、それぞれ希望すれば誰でも見学が可能です。静謐な空気が漂う御便殿に、ぜひ足を運んでみてください。

和倉の寺に鎮座する
ふたつの御便殿(ごべんでん)。



01



02



03



04



05

01, 02, 03

青林寺の御便殿

和倉温泉にある曹洞宗の寺院・青林寺。500段余りもある長い竹林の階段で有名なお寺です。ここに移築されたのが、寝殿風総檜造りの本殿。大きく設えられた窓枠が特徴で、自然豊かな寺の庭が一望できます。

📍 石川県七尾市和倉町レ部61 📖 P.18 C-3

03

青林寺の折上格天井(おりあげごうてんじょう)

移築された御便殿の中でも、寝室として使用された和室はとりわけ豪華に造られており、その天井には最も格式の高い「折上格天井」に仕立てられています。

📖 P.18 C-3

04, 05

信行寺の御便殿

本殿と分かれた控え室は、青林寺からほど近い信行寺に移築。こちらは主に、侍従者たちの宿泊施設として使用されていました。ピカピカに磨きあげられた廊下は圧巻そのものです。

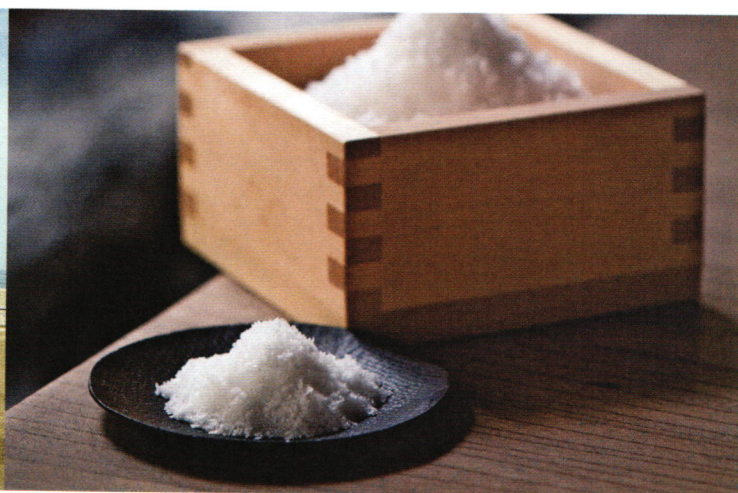
📍 石川県七尾市和倉町ソ部11-1 📖 P.18 C-3



能登が生んだ名品たち。

旅の楽しみといえば、お土産選び。自分の旅の思い出に、留守番中の家族に、いつもお世話になっているあの人に……。和倉の街の専門店では、能登の食文化や名産品から生まれた名品の数々をお買い求めいただけます。

銘菓や地酒や伝統工芸の器など、文化や風土に寄り添って生まれた品々は、能登の魅力がぎゅっと詰まっています。特に連続テレビ小説『まれ』でも重要な役割を果たした輪島塗と揚げ浜塩は、とりわけ人気の高い一品です。さあ、能登のお土産、こうてくだい！（「こうてくだい」=能登弁で「買ってください」のこと）



400年以上受け継がれる、揚げ浜塩

世界農業遺産にも認定されている、歴史ある能登の「揚げ浜式製塩」。口どけのいい食感や深い旨みなどの特徴により、県外の料理人にも愛されている日本屈指の塩と言えます。その秘密は、栄養に恵まれた海水と400年以上続く手作業の製塩法にあり。カルシウムや無機質といった栄養素が多い能登の海水を、何度もくみ上げては塩田にまき、濃度の高い塩水を作って長時間じっくりと炊きあげる。こうして生まれた珠玉の結晶を、ぜひ味わってみてください。



日常づかいの輪島塗

能登を代表する文化であり、国の重要無形文化財でもある輪島塗。堅牢にして優美な輪島塗は、かつて絢爛豪華な芸術品として注目されました。しかし、近年はトレンドが少しずつ変わり、「日常づかい」の器として見直されてきています。軽くて丈夫な上、傷ついたり、欠けてしまったような場合でも、直しながら使っていけるのが漆器の特徴です。“一生ものの器”として評価が高まる、輪島塗。日常を豊かにする道具を、ぜひ手にとってみてください。



ほっと優しい、ふるさと銘菓

能登の土産品には、地元で古くから伝わり、長く庶民に愛されてきたお菓子がたくさんあります。例えば、能登産の餅米を丹念につき、薄く引っ張って大豆を包んだ「ひっぱり餅」。ニッキの風味が特徴的な、白あんをサツマイモに模して焼き上げた「いも菓子」。600年以上の歴史を持ち、栄養価が高く、長期保存できることから、非常食としても重宝された七尾の名物「大豆飴(まめあめ)」。これら伝統的な製法を守って作られた品々には、まるで民芸品のような風情が宿っています。

特異な歴史を持つ珠洲焼

素朴で力強い美しさ、鉄器と見まがうほどの迫力……。珠洲地方に400年以上も前から伝わるこの伝統的な陶磁器は、能登の名産として高く人気を博しています。鉄分を多く含んだ土が熱を加えることによって溶け、鉄分が炭素と結合して黒い地肌になるのが特徴です。一度は歴史の舞台から姿を消し、昭和後期に地元住民の情熱によって蘇ったという特異な歴史を持つ、珠洲焼。生活空間にアクセントを与えるその存在感に、ぜひ触れてみてください。

美しい能登の水が生んだ、地元のお酒たち

里山里海の恵みである豊かな食文化とともに発展してきた能登のお酒は、味も種類もバラエティに富んでいます。まずおすすめしたいのが日本酒です。能登の杜氏(酒造りの最高責任者)は「日本四大杜氏」に数えられており、全国的に高い評価を受けています。また、能登焼酎の主力ブランドの「ちょんがりぶし」を15年熟成させた「わくら」は、無味無臭のマイルドな口当たり仕上がりになっています。地元産の葡萄にこだわった「能登ワイン」も、ワインコンクールで入賞を果たすなど、全国にその名をとどろかせています。能登の美しい水が生み出した銘酒たちを、ぜひお試しください。



アッシュ
前館・社口博啓美術館

別邸
局

ゆけむりの宿
美湾荘
レストラン
コッサム

酒屋
ちゃん

和倉温泉観光会館
和倉温泉観光協会
和倉温泉旅館協同組合

レンタサイクル
(有料)
あります。

みかで教室

足湯できます。

与謝野晶子歌碑

湯つ足りパーク(妻恋舟の湯)

緑地ひろば(わくたまくんパーク)

はまづる

お宿 すず花

過雁荘

〔荘〕川孫七郎の木の

パン・ケーキ シャールベル

居酒屋 ハちゃん

サークルK

日本の宿
のと楽

七尾市和倉温泉運動公園
多目的グラウンド

ヨットハーバー

ホテル・アルファワン能登和倉

海ごちそう 能登珍味 なまこや

中華料理
北京

セブンイレブン

ローソン

消防署

焼肉
ひでくら

G.S.

焼肉
寿美好

能登すしの庄
信寿し

至 能登島大橋 →

七尾市和倉温泉運動公園
テニスコート

至和倉温泉駅 ↓



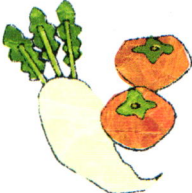
温泉たまごづくり

おでかけの疲れを温泉卵で癒してみても？ 豊富な塩分を含む和倉のお湯で茹でれば、絶妙な塩かげんの温泉たまごができあがり！ 近隣の商店で生卵を購入し、とろとろの半熟に変身させてみてください。



もてなし傘

もしも雨が降ってしまったら……？ でも、ご安心を。和倉温泉の各旅館や施設には、いつでも貸し出し可能な傘を常備しています。湯街散策に似合う渋いオレンジ色が目印。どの傘立てに返してもOKです。



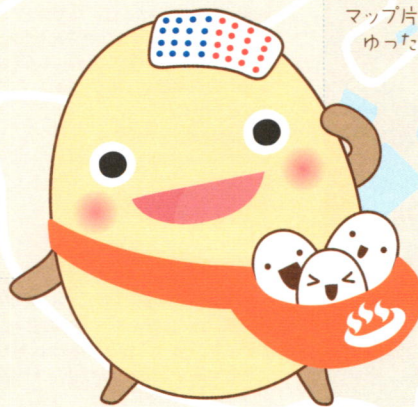
和倉朝市

毎週日曜日の午前7時～11時に、総湯前の広場で和倉朝市を開催しています。地元の野菜、果物、名産品などがズラリと並び、活気ある催しです。“地産地消”の現場に、ぜひ足をお運びください。

旅館 お問い合わせ一覧

電 地

加賀屋	0767-62-1111	C-1
加賀屋姉妹館 あえの風	0767-62-3333	D-2
きまま、旅館ライフ 虹と海	0767-62-8111	C-1
ホテル海望	0767-62-1515	D-2
天空の宿 大観荘	0767-62-1212	B-1
多田屋	0767-62-3434	A-2
奥田屋	0767-62-2062	C-2
ゆけむりの宿 美湾荘	0767-62-2323	D-2
旅亭 はまなす	0767-62-2320	C-2
お宿 すず花	0767-62-2420	D-3
湯の華	0767-62-2431	C-2
宿守屋 寿苑	0767-62-3322	E-3
味な宿 宝仙閣	0767-62-1225	C-2
大正ロマンの宿 渡月庵	0767-62-1788	C-2
能州いろは	0767-62-1682	C-1
花ごよみ	0767-62-2083	C-2
日本の宿 のと楽	0767-62-3131	E-3
十番館	0767-62-1731	B-2
湯快リゾート 金波荘	0570-550-178	B-1
はまづる	0767-62-2164	E-3
加賀屋別邸 松乃碧	0767-62-8000	C-1



おみやげ、グルメ、スイーツなど
オススメのお店がたくさん！
マップ片手に、和倉温泉街を
ゆったり楽しんでっね！



源泉お持ち帰り

温泉ペットボトルを「総湯」にて販売しております。胃腸病や貧血症など、飲用にも効果のある温泉をお持ち帰りください。
※ただし、腎臓病・心臓病・高血圧の方やその他一般にむくみのある方は飲用をご遠慮ください。



レンタサイクル

和倉温泉観光会館では、レンタサイクルをご用意しています。和倉の街は自転車でもわるのにちょうどいいサイズで、少し足を伸ばせば、七尾や能登島へもアクセス可能。人気はカゴ付き自転車です。



七尾一本杉通りで 有形文化財めぐり。

その昔、奥能登へと向かう街道沿いに目印となる大きな一本の杉の木があり、「出会いの一本杉」として人々に親しまれていました。そこに街ができて、約500年。七尾「一本杉通り」は、古い歴史と新しい発想が同居するモダンな商店街として今なお栄えています。ここでひと際目立つのが、国の「登録有形文化財」に指定されている5軒の重厚な木造建築です。歴史を肌で体感できる文化財めぐりを、ぜひお楽しみください。

01 P.19

01

旧上野啓文堂(現・歩らり)

昭和初期に建てられた、万年筆をモチーフにしたかわいいレトロな建物。ここは現在、七尾出身の夫婦が営む「歩らり」という雑貨店になっています。新旧が融和する素敵なお店です。

石川県七尾市一本杉町32-1
0767-52-3630

02

鳥居醤油店

明治38年に起きた「七尾の大火」で消失し、明治41年に再建。そんな歴史ある土蔵造の町家で営まれているのが、県外にも多くのファンを持つ鳥居醤油店。凛としたたたずまいの店内も必見です。

石川県七尾市一本杉町29
0767-52-0368

03

北島茶屋店

伝統的な「腕木構造」を伝える、典型的な七尾町家。目には見えない「屋根の支え方」が特徴的です。そんな北島茶屋店では、珍しい「抹茶挽き体験」ができます。ぜひ、お試しあれ。

石川県七尾市一本杉町54
0767-53-0003

04

高澤ろうそく

重厚な町家の中に広がるやわらかな灯りが特徴の高澤ろうそくは、明治25年の創業以来、伝統のろうそく一筋に商いを続ける老舗です。その歴史が醸し出す「真の和モダン」をご堪能ください。

石川県七尾市一本杉町11
0767-53-0406

05

旧勝本邸(現・リフォーム前田)

「七尾の大火」を逃れた数少ない建物のひとつで、これまで内部の吹き抜け構造により、良好な保存状態のまま存続してきた旧家。現在は「リフォーム前田」として営業しています。

石川県七尾市一本杉町122
0767-52-2473

08

ちよいとお隣、
七尾、
能登島へ。



ぶらっと近郊「自転車コース」

和倉温泉から少し足を伸ばせば、多くの登録文化財を有する七尾一本杉通りや、穏やかな七尾湾にひょっこり浮かぶ能登島がすぐそこに。どちらも自転車で数十分の距離。滞在時間の短い人におすすめのコースです。

和倉温泉では自転車の貸し出しを行っていますので、見晴らしのいい海沿いのサイクリングをお楽しみください。





能登島大橋

全長は何と1050mもあり、石川県で最も長い橋として知られています。和倉温泉と能登島を結び、渡れば大きなアップダウン、横から眺めれば曲線美が特徴という地元のシンボルです。

📍 P.19



能登名物「黒瓦」の町並み

能登には「黒い屋根瓦」の民家が数多く存在します。これには諸説ありますが、「屋根の上に積もった雪が、解けて滑り落ちやすいから」というのが有力な説。そんな黒瓦の連なりは、風景に重厚な艶やかさをもたれています。



能登島の工房で陶芸体験

七尾湾を一望できる絶景の工房で、陶芸体験はいかが？「看板猫」が出迎えてくれる「案山子窯」では、先生の指導のもと、オリジナルの器づくりが体験できます。一カ月後に焼き上がる作品が、きっと待ち遠しくなるはず。

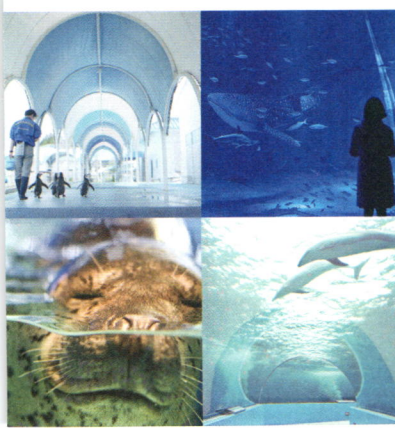
📍 石川県七尾市能登島曲町2乙部-1
☎ 0767-84-1059 📱 P.19



御手洗池(赤蔵山)

底が見えるほど水が透明で、その水面はまるで鏡のように周囲の森林を映します。聖武天皇の皇太子が眼病治療にこの水を使われたという言い伝えもあり、霊泉としても知られています。

📍 P.19



のとじま水族館

ジンベエザメを始め、能登半島近海に棲む魚を中心に約500種4万点の海の生き物に出会える能登島の人気スポット。長さ22mの“トンネル水槽”は圧巻です。

📍 石川県七尾市能登島曲町15部40
☎ 0767-84-1271 📱 P.19



山の寺寺院群で紅葉めぐり。

約400年前、時の領主・前田利家が七尾に居城を築いた際、外敵からの防御目的で29のお寺をこの地に配置したことが山の寺寺院群の始まりです。現存するのは16カ寺。様々な宗派が混在する、バラエティ豊かな寺院群です。秋になると、生い茂る木々の葉が一斉に色づき始めます。赤、オレンジ、黄色……。言葉では表現できないくらい濃淡様々な色の葉で染まる景色は、息をのむ美しさ。秋の散策におすすめのスポットです。

📍 P.19

06

印勝寺

秋が深まる頃には、境内へ続く長い階段が色とりどりの落ち葉で染まる景色が見もの。地域住民が管理する無住のお寺で、桜を始め、四季を通じて様々な草木が咲き誇ります。

📍 石川県七尾市小島町129

07

實相寺

裏庭にそびえる樹齢700年の椎の木が圧巻。ここに宿る神は「妙蓮大菩薩」とも「天狗様」とも言われ、「絶体絶命のとき折れば一度は必ず助ける」という言い伝えも残っています。

📍 石川県七尾市小島町127

08, 09

本行寺

「ゼウスの塔」を始め、禁教下でキリスト教徒をかくまった歴史から、「隠れキリシタンのメッカ」とも言われています。多くの楓が植えられており、別名「紅葉寺」とも呼ばれています。

📍 石川県七尾市小島町134



能登食祭市場

一本杉通りから自転車で5分も走れば、新鮮な海産物がところ狭しと並ぶ能登食祭市場に到着します。その日に水揚げした蟹、ブリ、牡蠣。歴史散策でお腹がすいたら、こちらにお立ち寄りを。

名物・浜焼きコーナー

ここ能登食祭市場では、各店で買ってきた海産物をその場で焼いて食べられる「浜焼きコーナー」が人気です。目で、耳で、舌で海の幸を楽しむのぜいたくなコーナーです。

📍 石川県七尾市府中町員外13-1
☎ 0767-52-7071 📱 P.19

白米千枚田

海に向かって広がる景観は、日本各地にある棚田の中でもとくに珍しい絶景ポイントです。田の枚数は、国指定部分で1004枚。これが「千枚田」と呼ばれるゆえんです。

住 石川県輪島市白米町八部99-4 地 P22



あえのこと

ユネスコの「無形文化遺産」にも登録されている、能登の伝統的な農耕儀礼。「あえ＝もてなし」「こと＝祭り」という意味で、「田の神様」を家に招き、五穀豊穡を祈ります。

見学お問合せ：
0768-76-1680 (柳田植物公園内 合鹿庵)
※ 毎年12月5日、2月9日。見学は無料



揚げ浜式製塩

汲み揚げた海水を砂浜の「塩田」にまき、太陽と風の力で蒸発させる天然の製塩法。400年以上の歴史を持つ能登の伝統文化です。美しい塩の結晶が特徴的です。

体験お問合せ：
0768-87-2040 (奥能登塩田村)
※ 5月～9月まで、要予約
地 P22



間垣の里

「間垣」とは、長さ約3メートルのニガ竹という細い竹をびっしりと隙間なく並べてつくった垣根のこと。厳しい自然と共存してきた先人たちの知恵が生んだ風景です。

地 P22



輪島朝市

千年の歴史を誇る能登の伝統文化で、「日本三大朝市」にも数えられています。全長360mの朝市通りに並ぶ約200件の露店には、新鮮な野菜や海産物、民芸品などが並びます。

地 P22

09

これぞ能登！
能登のええとこ、
まるっと満喫！



ぐるっと日本海「ドライブコース」

日本で初めて「世界農業遺産」に選ばれた能登は、里山里海が生み出すダイナミックな景観が見所のひとつです。クルマで能登半島をぐるっとまわりたいときは、半島全域にアクセスしやすい和倉温泉からの出発が最適。

同じ日本海でも内浦と外浦の景色の違いを楽しんだり、文化や歴史が息づく場所を訪れたり、能登半島の人気スポットを「いいとこ取り」したコースです。

世界農業遺産認定
「能登の里山里海」
体験の旅。

世界農業遺産とは？

優れた里山里海の景観、伝統的な技術、独自の文化風習などが評価され、2011年に国連食糧農業機関(FAO)によって認定されました。世界的に評価された能登の景色や文化を体験できる場所をご紹介します。



一度は訪れたい
絶景スポット
めぐりの旅。

千里浜なぎさドライブウェイ

日本で唯一の「車で走れる砂浜」。車が砂浜に沈まないのは、砂の粒子が細かく、海水を含んで引き締まっているため。世界でも3カ所しかないという希少な風景です。

📍 P.22



大笹波水田

能登の景勝地「ヤセの断崖」からやや南方に位置する108枚の棚田は、「日本の棚田百選」にも選ばれている名所。特に、駐車場のある展望所からの眺めが人気です。

📍 P.22



機貝岩

高さ16メートルと12メートルという巨大な岩が寄り添う夫婦岩。「はたごいわ」と読むこの岩は、その昔、能登に織物の技術を伝えた女神の伝説が語源になっています。

📍 P.22



福が穴

修行僧が人々の幸せを祈るために仏像を彫った洞窟と言われ、奥には石彫りの不動明王が二体も鎮座しており、能登を代表するパワースポットとしても人気です。

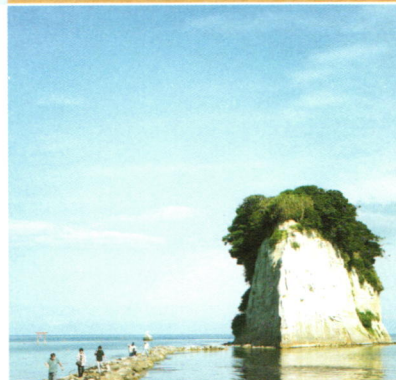
📍 P.22



見附島

空海が布教のために佐渡から能登へと渡った際、最初に「目に附いた島」というのがその名の由来。その形から、地元の人には「軍艦島」とも呼ばれています。

📍 P.22



九十九湾遊歩道

大小の入り江からなるリアス式海岸で、九十九を数える入り江がその名前の由来です。「日本百景」のひとつに選ばれるほどの景勝地で、カップルにも人気のデートスポット。

📍 P.22

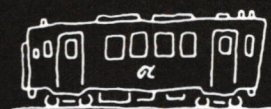


総持寺祖院

明治31年の大火に遭うまで曹洞宗の総本山だった「總持寺祖院」は、今なお一大聖地として尊ばれています。多様な植物が特徴で、秋は紅葉スポットとしても人気。

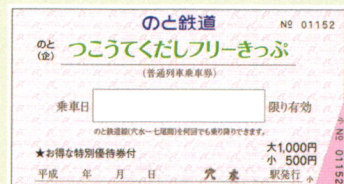
📍 P.22





七尾駅と穴水駅を結ぶ、わずか30数キロの“のと鉄道七尾線”。七尾湾に沿って走るこのローカル線は、車窓に広がるオーシャンビューが見ものです。和倉温泉駅は、始発駅である七尾駅のすぐ隣ですが、ちょっと足を伸ばして、気の向くままに途中下車してみませんか？

時間にしばられることのない気ままな旅は、とても贅沢な時間です。ガイドブックには載っていない、自分だけの能登の風景を見つけてください。



1日乗り放題+施設優待券がセットになった「つこうてくだしフリーきっぷ」。景色も駅舎もすべてが見物なのと鉄道を満喫するには、乗り降り自由なこのきっぷが最適です。



駅周辺へのちょっとした散策に、レンタサイクルはいかが？ 折りたたみ式で、列車への積み込みが可能。穴水駅、七尾駅、能登中島駅、田鶴浜駅にて貸し出しています。

七尾湾に顔を出すやぐらは、かつてこの海で行われていた「ぼら漁」の姿を伝える観光用のモニュメントです。魚群をただ待つ……。いかにも能登らしい、のんびりした漁法です。

山の中を走っていたと思っていたら、突然パーツと海が開ける……。先頭車両の窓から前を眺めれば、臨場感あふれる景色が堪能できます。“の”と鉄アドベンチャー”をお楽しみあれ。

波ひとつない湖のような表情が、見る者を
穏やかな心地にさせる、尻の七尾湾。水面
がとろみがかっているようにも見えるこの
海には、“潮の道”がくっきりと浮かびます。

棚田にあぜ道、天日干しの稲など、車窓からは目にも優しい田園風景が広がります。遠くにそびえる立山連峰がハッキリ見えたとき、それは次の日が雨になるというサインです。



のと鉄道とは？

地元住民の足として活躍するローカル鉄道。レトロなデザインの車両、マジンガーZやアニメのラッピング車両など、バラエティ豊かな外観が特徴的です。そしてもうひとつの特徴が、各駅についているユニークな「別名」です。例えば笠師保駅は、別名「恋火駅」といいます。そこには一体、どんなロマンチックなストーリーが？そんなのと鉄道車窓から見えるノスタルジックな景色をご紹介します。



01

穴水駅 (まいもんの里駅)

和倉温泉から上りの終着駅である「穴水駅」はホームが広く、景色もどか。何とも言えない「のんびり感」が漂います。のと鉄道のグッズを買ったかったら、穴水駅の売店へ。



02

能登鹿島駅 (能登さくら駅)

穴水駅のお隣、「能登鹿島駅」を囲むようにして林立しているのは……ソメイヨシノの木。春になると、ピンクのトンネルが出現します。別名「能登さくら駅」。桜の名所として有名です。



03

西岸駅 (小牧風駅)

レトロな駅舎がかわいい「西岸駅」。近くで焼き畑が行われる季節には、線路が白い煙に包まれ、幻想的な景色が出現します。またここは、人気アニメの舞台になった駅としても有名です。



04

笠師保駅 (恋火駅)

「恋火駅」という別名を持つ「笠師保駅」。海の上でランデブーを楽しむ男女の神様を祀った「塩津かがり火恋祭り」がその由来です。駅舎には恋愛を特集した雑誌が置かれています。

レンタサイクル



第20回 能登よさこい祭り

前夜祭 6月10日(金)・本祭 11日(土)・12日(日)
石川県内外より約60のよさこいチームが集まり競います。エキサイティングで華やかな踊りの熱気が町中にみなぎり、たくさんのお客様で賑わいます。

■場所/和倉温泉街
■お問合せ/祭りの国能登の賑い実行委員会 (0767-62-1555)

和倉温泉の街をオシャレな自転車で散走しませんか。見晴らしのいい海沿いの湾岸道路や能登島島内を風を感じながらサイクリングで楽しもう！



- 貸出時間/9:00~17:00
- 料金/1台半日(4時間未満)500円、1日1,000円
- 種類/一般自転車・クロスバイク・ビーチクルーザー
- お問合せ/和倉温泉観光会館(0767-62-1555)



LINE わくたまくん LINEスタンプ登場

LINEスタンプショップにて 1セット(40種類) 120円にて好評販売中！



第37回 和倉温泉夏花火

8月4日(木) ※荒天時は翌日に順延
北陸最大級の三尺玉(30号玉)をはじめ、千数百発の打ち上げ花火が夏の夜空を焦がす花火大会です。

■場所/わくわくプラザ(和倉港付近)
■時間/20:30~21:15
■お問合せ/和倉温泉観光協会 (0767-62-1555)



和倉温泉太鼓打競技大会

8月下旬
古くから継承されてきた能登の太鼓芸能。ロマンと伝説にあふれた伝承の技を一堂に会して競い合います。

■場所/和倉温泉内
■時間/13:00~20:00頃
■お問合せ/和倉温泉観光協会 (0767-62-1555)



あばれ祭り
能登町役場前広場



七尾祇園祭
七尾市湊町飯高前広場



向田の火祭
能登島向田町



石崎奉燈祭
七尾市石崎町

キリコ祭り見学バス

和倉温泉から祭り会場まで送迎いたします。■予約/宿泊旅館フロント

祭 名	運行日	料 金	集合場所	出発時刻	現地滞在時間	旅館着時刻
あばれ祭り	7/1(金)	1,000円	観光会館	19:30	21:00~22:30	24:00
七尾祇園祭	7/9(土)	700円	観光会館	20:30	20:45~22:00	22:15
向田の火祭	7/30(土)	700円	観光会館	21:00	21:20~22:40	23:00
石崎奉燈祭	8/6(土)	片道100円	観光会館	19:00~23:00	常時シャトルバス	

※詳細は各旅館へお問合せください。



とれんのまち一本杉通り のしごととストリートウォーク 2016

10月予定
「語り部処」と「花嫁のれん」で知られるふれい観光のまち一本杉通り。その商店が、々に繋がりあるつくり手の作品展示会催します。古くからのしごとの良さと暮らしの豊かさを感じてみませんか。

■場所/一本杉通り ■時間/9:00~17:00
■お問合せ/七尾市観光協会(0767-53-8424)



無名塾「赤い自転車」

11月4日(金)~11月6日(日)

仲代達矢率いる「無名塾」による秋の公演です。ひとりの主婦のモノ・ログから、始まる物語。理想の家庭とは言えない現実の中、交通事故をきっかけに壊れかかった家族の姿が浮かび上がる。
〈作・演出〉岡山矢 〈出演〉渡辺梓、松崎謙二、鎌倉太郎、川村進、円地晶子、吉田道広ほか無名塾

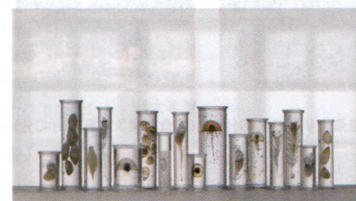
■場所/能登演劇堂
■お問合せ/〈公助〉演劇のまち振興事業団 (0767-66-2323)



「おうち探検」マヤ・カステリツ(スロヴェニア)/2015年入選作品 2016 イタリア・ポローニャ国際絵本原画展

11月3日(木・祝)~12月11日(日) ※会期中無休
イタリア・ポローニャ市で開催される絵本原画コンクールの入選作品を展示。様々な技法によって表現された、絵本原画約400点を紹介予定。

■場所/石川県七尾美術館
■観覧料/一般800円(700円)、大高生350円(300円) ※中学生以下無料、()は20名以上の団体料金
■お問合せ/石川県七尾美術館 (0767-53-1500)



ステファンダム/My Parallel Biology/2013年受賞作品 国際ガラス展・金沢 2016in 能登島

11月26日(土)~2017年1月29日(日)
世界唯一の国際的なガラスの公募展として、世界のガラスシーンの今を展望する展覧会です。入選作品約70点をご紹介します。

■場所/石川県能登島ガラス美術館
■観覧料/高校生以上800円、中学生以下無料
■休館日/12/20(火)、12/29(木)~2017/1/1(日)、1/17(火)
■お問合せ/能登島ガラス美術館(0767-84-1175)

見学バス

予約制

●あぜのきらめき見学バス(輪島・白米千枚田)



世界農業遺産に認定された能登のシンボル「輪島・白米千枚田」を彩る冬季限定の壮大なイルミネーションを和倉温泉から貸切バスに乗って見に行きませんか。

■期間/10月15日(土)~1月28日(土)の金、土(全29回)
■【往路】15:40出発(和倉温泉観光会館)~17:00到着(千枚田)
■【復路】17:30出発(千枚田)~19:00頃到着(各旅館)
■料金/大人(中学生以上)2,000円、小人1,000円(小学生以下)、3歳未満無料
■定員/1名~40名まで
■予約・お問合せ/和倉温泉観光協会(0767-62-1555)
※期間中は冷え込むため、お履物や防寒対策を万全にしてお越し下さい

観光列車

予約制

●七尾線観光列車「花嫁のれん」

金沢⇄和倉温泉間を走る観光列車です。「和と美のおもてなし」をコンセプトに、外観のデザインは北陸の伝統工芸である輪島塗や加賀友禅をイメージしています。車両の魅力はもちろん、風光明媚な景色とともに、ゆったりとした列車の旅をお楽しみください。

■運行時間・予約について/JR西日本北陸案内センター (076) 265-5655



●のと鉄道観光列車「のと里山里海号」

七尾駅⇄穴水駅間を走る観光列車です。沿線には日本の原風景、世界農業遺産に登録された「能登の里山里海」が広がっています。のどかな田園を眺めながら、のんびりとした時間をお過ごしください。

■予約・お問合せ/のと鉄道観光列車予約センター (0768) 52-2300



平成28年度（2016年）イベントカレンダー

和倉温泉旅館協同組合加盟
ご宿泊の方限定企画

4月・5月・6月



神山俊一／丸と四角／2015年

日本のガラス展

—挑戦する現代ガラス—

前期 4月9日(土)～5月23日(月)

後期 5月28日(土)～7月10日(日)

日本のガラスアートの動向を伝える大規模なガラスの展覧会。

■場所／石川県能登島ガラス美術館

■観覧料／高校生以上800円、中学生以下無料

■休館日／4/19(火)、5/17(火)、5/24(火)～27日(金)、6/21(火)

■お問合せ／能登島ガラス美術館 (0767-84-1175)



「秋草図屏風」長谷川宗宅筆 京都市・南禅寺蔵

長谷川等伯展

—長谷川派・等伯と一門の精鋭たち—

4月23日(土)～5月29日(日) ※会期中無休

長谷川等伯晩年期制作の水墨画と、彼の周囲で活躍した「長谷川派」と呼ばれる息子や弟子たちが制作した作品など計27点を紹介予定です。

■場所／石川県七尾美術館

■観覧料／一般800円(700円)、大高生350円(300円) ※中学生以下無料、()は20名以上の団体料金

■お問合せ／石川県七尾美術館 (0767-53-1500)



花嫁のれん展

4月29日(金・祝)～5月8日(日)

「花嫁のれん」とは加賀・能登の庶民生活の中に生まれたもので、幕末から明治時代初期の頃より伝わる婚礼の風習です。七尾市にある一本杉通りの商家・民家では期間中、約百数十枚もの「花嫁のれん」が展示されています。また初日には「花嫁道中」も行われます。

■場所／七尾市一本杉通り商店街

■お問合せ／七尾市観光協会 (0767-53-8424)



青柏祭 (せいはいくさい)

5月3日(火・祝)～5日(木・祝)

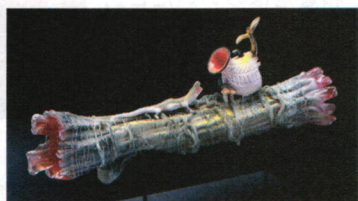
国指定重要無形民俗文化財

五穀豊穡を願う能登最大の春祭り。トール、重さ20トン、車輪の直径2m。巨大な3台のデカ山が街を練り歩き、倒的なその大きさをデカ山を一気にさせるシーンも必見です。

■場所／七尾市内

■お問合せ／七尾市観光協会 (0767-53-8424)

7月・8月



水上竜太／月夜の森から／2002年

ガラスに見えないガラス展(仮称)

7月16日(土)～9月4日(日)

ガラスが〇〇に変身! ? 自在に姿形が変えられる素材の魅力、ガラスの既成概念を打ち破るような造形の見どころをご紹介します。

■場所／石川県能登島ガラス美術館

■観覧料／高校生以上800円、中学生以下無料

■休館日／7月19日(火)、8月は無休

■お問合せ／能登島ガラス美術館 (0767-84-1175)



わくわく夏まつり

7月30日(土)～8月21日(日)

※8/4は夏花火のためお休み

懐かしい昭和の縁日を再現した会場では、輪投げやボールすくい、射的などの夜店が軒を連ねます。郷土芸能、お楽しみ抽選会、スイカ割りなどイベント満載です。

■場所／わくわくプラザ (和倉港付近)

■時間／20:00～21:10

■お問合せ／和倉温泉観光協会 (0767-62-1555)



第28回モントレージャズフェスティバルイン能登

7月30日(土) 14:00開演予定

米国の同フェスティバルの名称使用を世界で唯一許され、日本一長く連続開催しているビッグイベントです。海辺のステージでは、7時間に渡り国内外の一流ミュージシャンや日米学生による熱演が繰り広げられます。

■場所／七尾マリンパーク ■料金／大人前売券5,000円・当日券6,000円、高校生以下2,000円、未就学児は保護者同伴で無料。※全席自由席 ■お問合せ／MJF イン 能登実行委員会 (0767-54-8820)



和倉温泉MROヨットフ

7月31日(日)

夏の海で風をきって競い合うヨット。誰でも気軽に参加でき、ヨットすることもできます。

■場所／わくわくプラザ (和倉港付近)

■お問合せ／和倉温泉観光協会 (0767-62-1555)

9月・10月・11月



能登の里山里海食材による美味食メニュー わくらむすび(お茶漬)

予約制

11月中旬～2月末日

和倉の料理人が心を込めたこの地でしか味わえない「わくらむすび(お茶漬)」。"わくらむすび"という言葉は、日本最古の歴史書「古事記」に記された神様「たかみむすびのかみ」から生まれたとも言われ、むすびの"び"には古代の言葉で魂を込めたものという意味もあります。この地にしかない一皿を参画旅館にて提供しています(予約制)。

※各旅館提供数には限りがございます。

※一部取扱いの無い旅館もございます。詳しくは各旅館までお問合せください。



レースグラス足付鉢／ヴェネチア 16-17世紀／サントリー美術館蔵

ヴェネチアン・グラス —美しきガラスへの憧憬—

9月10日(土)～11月20日(日)

世界の人々を魅了し続けているヴェネチアン・グラス。16世紀以降に制作された作品を中心に展示・紹介します。

■場所／石川県能登島ガラス美術館

■観覧料／高校生以上800円、中学生以下無料

■休館日／9月20日(火)、10月18日(火)、11月15日(火)

■お問合せ／能登島ガラス美術館 (0767-84-1175)



お熊甲祭り (おくまかぶとまつり)

9月20日(火)

国指定重要無形民俗文化財

七尾市中島町に古くから伝わる奇祭。高さ20m以上に及ぶ深紅の杵旗十数本が本神社に集まると、境内では天狗面の猿田彦の乱舞が始まります。別名「杵旗祭り」とも呼ばれています。

■場所／七尾市中島町 (和倉温泉より車で約20分)

■お問合せ／七尾市観光協会 (0767-53-8424)

12月・1月・2月・3月／平成29年4月



和倉温泉

ぼかぼかプレゼント ※イメージ

12月1日(木)～平成29年3月31日(金)

抽選券と温泉たまご作りセット引換券がついた「ぼかぼかお楽しみ券」をご宿泊の方に無料でプレゼント! おいしい温泉たまごを作り、温泉街を散策しましょう!

※卵はお一人様1個の引換えとなります。

■お問合せ／和倉温泉観光協会 (0767-62-1555)



除夜の鐘・初詣

12月31日(土)・平成29年1月1日(日・祝)

温泉街にあるお寺や神社で新年を迎えませんか。ぜんざいや甘酒・焼餅の無料振る舞いを行っています。

■場所／青林寺、少比古神社

■時間／31日 23:30頃～1日1:00頃まで

※先着200食となります。



能登和倉万葉の里マラソン2017

平成29年3月12日(日)(予定)

全国各地から大勢のランナーが参加するマラソン大会です。イベント広場では殻つきの牡蠣を炭火焼きコーナーで提供しています。

■お問合せ／能登和倉万葉の里マラソン大会組織委員会事務局 (0767-53-8436)



和倉温泉春花火(仮称)

平成29年4月1日(土) ※荒天時は

寒さもやわらぎ、新しい生活など“春”に行う全国的にも珍しい花火

■場所／和倉温泉 (詳細は決まり次第に掲載いたします)

■お問合せ／和倉温泉観光協会 (0767-62-1555)

来てくだあい、
入ってくだあい。

一二〇〇年お待ちしました。

和倉温泉



